

## 仙台城跡における活用事業について

### 1. 文化財課が主管する活用事業（H28～30年）

出前講座は市民向けに実施。仙台城跡見学は一般向けと学校依頼のものあり。

年度	出前講座 (件)	仙台城跡見学 (回) ※	出前授業 (校)	中学生 職場体験(校)	親子石垣見 学会(回)	造酒屋敷遺跡 見学会(名)
H28	37	9 (3)	11	6	2	62
H29	12	14 (9)	19	5	2	134
H30	14	14 (9)	11	6	2	150

※ ( ) 内は学校依頼による見学会の回数

### 2. その他の関連事業

#### <ガイド活動>

○NPO 法人仙台城ガイドボランティア会

H18年設立／会員数40名／本丸中心に4～11月の土日祝日に活動／  
親子クイズラリー／史跡見学会等を実施

○博物館ガイド三の丸会

H9年設立／会員数120名／博物館内および敷地内中心に活動

○伊達武将隊

H22年結成、H27年以降は民間会社が運営／現隊員8名／本丸跡での演武・ガイド・  
各種イベントへの出演

#### <イベント等の実施>

○仙台七夕花火祭

毎年8月5日に開催／平成29年度の第48回花火祭では約45万人が参加

#### <日本遺産の認定>

H28年度に「政宗が育んだ“伊達”な文化」として認定／仙台市・塩釜市・多賀城市・松島町にひろがる史跡・国宝・伝統芸能・伝統技術等を含めて構成される／仙台城跡は構成要素の一つ

### 3. 観光客数

○本丸跡来訪者数 H26：46.4万人、H27：53.1万人、H28：57.4万人

宮城県護国神社本丸会館駐車場利用者数と一歩る仙台バス「仙台城跡」停留所  
降車数を合計した数字の概数

○仙台城見聞館入館者数 H28：12.6万人、H29：12.7万人、H30(2月迄)：12.4万人

第6学年社会科指導案（略案）

1 単元名 「江戸幕府と政治の安定」

2 本時の指導

(1) 内容 「伊達政宗と仙台城」 (後日仙台城見学予定)

(2) 評価

【関心・意欲・態度】伊達政宗が整備した仙台城や城下の様子に興味を持ち、進んで学習することができる。

【思考・判断・表現】仙台城の造りから伊達政宗の城づくりの特長について気付くことができる。

(3) 準備物

○学 校：TV (またはスクリーン)、PC、ケーブル (HDMI など) 長机3台ほど

○授業者：パワーポイントのデータ、ワークシート、アンケート用紙、仙台城跡出土遺物 (瓦等)

○児 童：筆記用具のみ ※教科書、ノート、資料集は必要ありません ※ワークシートあります

(4) 学習過程

学習活動 ★用語	●予想される児童の反応	※留意点 ☆資料等
1 インTRODクシヨン 伊達政宗や伊達政宗と 3 人の 武将の関係について知る。	「伊達政宗ってどんな人？」 ●片目 ●戦国大名 ●仙台城を築いた ●山形 (米沢) で生まれた ●独眼竜 ●遅れてきた戦国武将 ●仙台に城と町をつくった	※クイズ形式でリラック スして臨めるようにす る。 ※既習の三人の武将と比 較させる。☆年表
2 本時のめあてを確認し、学習の 見通しを持つ。	「伊達政宗がつくった城と町について考えよう」	
3 仙台城 (防御機能) や登城路に ついて考える。 ★仙台城 ★大広間 ★登城路 ★櫓 ★堀 ★門 ★山城	「今の仙台城跡の様子を見てみよう」 「敵から城を守るための伊達政宗の工夫を探 してみよう。」 ●曲り道 ●崖 (山城) ●櫓 ●門 ●堀や川 ●石垣	※ワークシート配布 ☆仙台城跡空撮図 ※6つの観点で仙台城の 防御機能を紹介する。 ※仙台城見学へ向けて意 欲付けを図る。
4 仙台城から出土した遺物 (軒丸 瓦、軒平瓦、鯨瓦など) に触れ る。	●思ったより重いな ●昔のものが残っていてすごい ●今使われているものと似ているものもある な	※貴重な資料なので気を 付けて取り扱うように 指示する。
5 江戸時代の仙台の城下町の様 子を古地図を見て考える。 仙台城下の鉤の手、丁字路、食 い違いの道などを説明する。	「今も残るかつての町の名前をさがそう」 「江戸時代の道の様子に注目してみよう」 ・町は町工人の住居地、丁は武士の住居地 ・碁盤の目状に整備されている。 ・今と変わらない地名がある。 ・身分によって住む場所が変わる。	☆古地図のコピー ※伊達政宗のまちづくり が現在にも残っている ことをまとめにつなげ る。
6 本時のまとめをする。	・仙台城は自然の地形を生かした攻められにくい城だった。 ・仙台には今も伊達政宗のまちづくりのあとが残っている。	